

未来の学校づくり アンケート分析結果報告

～児童生徒・保護者・教職員の意識調査と比較分析から見た今後の方向性～

調査時期

2026年7月 実施

児童・生徒 回答数

532 件 (小4～中3)

保護者 回答数

264 件

教職員 回答数

73 件

1 児童・生徒アンケート分析結果（回答数: 532件）

質問項目	主な数値データ	分析・要約
【問1】 現在の自分たちの姿	あいさつやマナーを守る84.7% 相手の気持ちを考えて行動77.8% あきらめないでがんばる73.7% 目標をもって行動する66.9% 地域や社会との関わり45.6%	日常の学校生活における規律や思いやり、粘り強さを意識して生活しているものの、地域社会との関わり・参画意識は、やや低い結果となりました。
【問2】 未来の目標	あいさつやマナーを守る89.1% 相手の気持ちを考えて行動81.5% あきらめないでがんばる77.9% 目標をもって行動する77.7% 協力して役割を果たす74.5%	良好な人間関係を築く「礼儀・思いやり」と、自身の目標に向かって「主体的に挑む姿勢」「協調性・役割意識」を自らも重要ととらえています。
【問3】 教育以外の学校施設の役割	災害時の安全な避難場所(防災)43.8% 地域住民の交流拠点27.8% 町のシンボルとなる建物27.6%	日々の学びの場であるとともに、非常時に自分たちや地域住民の命を守る「安心・安全の砦」としての機能を求めています。
【問4】 充実したい場所	好き・得意を深める場所52.4% ゆったり過ごせる場所47.9% 楽しく運動できる場所39.1% 不審者対策や防災設備32.7%	個性を伸ばせる探究できる場所と、緊張をほぐし友達とリラックスできる居場所・憩いの場の双方を求める意向があります。

【問5】児童生徒の声：自由記述

- ① 運動・遊具・施設設備(11件)：屋内プール(3件)、バスケットコート(2件)、遊具(大きな遊具・トランポリン・後ろの山で遊ぶ等)を増やす(3件)、テニスコートの整備・ホッケー場の設置(2件)、放課後暗くなっても部活ができる場所(1件)
- ② ルールの緩和(10件)：服装・髪型の自由化、校則をゆるく／無くしてほしい(6件)、スマホの使用許可(1件)、もう少し楽に／体育の授業だけでいい(2件)、自由教室の設置(1件)
- ③ 校舎・バリアフリー・設備の充実(9件)：エレベーター等の設置(4件)、足が不自由な人でも登りやすい階段・床のくぼみ改善(2件)、教室を区切る／外気温に合った適温の教室(2件)、校舎の内装をきれいに(1件)
- ④ 交流・コミュニケーションの場(8件)：他の学年・校内の人たちと楽しく交流できる場所・給食室(5件)、他の学校の人や地域・先生方と交流できる場所(2件)、障害の有無に関わらず交流・保護できる場所(1件)
- ⑤ 安全・安心・いじめのない環境づくり(7件)：いじめのない学校・仲間はずれのない環境(4件)、誰もが安心安全・平和に過ごせる学校(2件)、防犯対策・不安の少ない環境(1件)
- ⑥ リラックス・個人の居場所(6件)：1人で集中できる個人の部屋・落ち着けるスペース(3件)、給食や休憩時間にいこえる場所(1件)、遊び・ゲームができる場所(1件)、景観を楽しめる場所(近津を眺められる場所)(1件)
- ⑦ 生活環境・飲食サービス(5件)：自販機・飲み物が買える場所(2件)、フードコート・マクドナルド・コンビニ(3件)
- ⑧ 学習・相談・支援環境(5件)：自分にあった勉強方法・個別に取り組める環境(2件)、先生に気軽に質問・悩みをみんなで相談できる場所(2件)、図書室を大きくする(1件)
- ⑨ 技術・環境配慮・先進的な機能(2件)：AIの活用(1件)、地球温暖化対策がされた施設(1件)
- ⑩ 特になし・未記入など(約23件)

【児童生徒の声 総括】未来の学校づくりに求めていること

児童生徒の声を総括すると、未来の学校に求めているのは「自己実現を支える主体的な空間」と「誰もが心からリラックスできる安心な居場所」の両立です。自分の好きなことに没頭し個性を伸ばせる自習・図書環境を望む一方で、ストレスを和らげ、学年を超えてあたたかく関われる憩いの場へのニーズがあります。また、いじめのない優しい人間関係と防犯・防災設備による「確かな安全基盤」も望んでいます。

2 保護者アンケート 分析結果（回答数: 264件）

質問項目	主な数値データ	分析・要約
【問1】 現在の子どもたちの姿	あいさつやマナーを守る 66.4% のびのびと元気に過ごす 65.5% 相手の気持ちを考えて行動 55.9% 自分で考えて行動している 33.6% 地域や社会との関わり 26.4%	規律や元気に過ごす姿を評価する一方、「主体的な判断力・行動力」や「地域社会への参画意識」には課題があるととらえています。

【問2】 必要な未来の目標	相手の気持ちを考えて行動 78.2% あいさつやマナーを守る 77.0% よく考え自分で決めて行動 67.7% のびのびと元気に過ごす 67.3%	思いやりとマナーを根幹としつつ、「自立的な自己決定能力」と「心身ともに健全な成長」を望む意識が顕著です。
【問3】 教育以外の学校施設の役割	災害時等の安全な避難場所(防災) 50.8% 地域住民が集うコミュニティ拠点 40.2% 町のシンボルとしての建物 8.7%	非常時には命を守る防災基盤となり、平常時には地域社会とスムーズに連携・交流できる安心の拠点を期待しています。
【問4】 充実したい場所	体力の向上やスポーツ 52.3% 個人の興味・習慣に応じた学び 49.6% ゆったり過ごせる場所 45.5% 不審者対策や防犯・防災設備 36.4%	体力増進と個に応じた学習空間、リラックスできる居場所、確実に身を守る防犯・防災を備えた複合的施設を求めています。

【問5】保護者の声：自由記述

- ① 通学路の安全・送迎環境の整備(12件)：送迎用駐車場の確保・拡張(5件)、スクールバス運行・バス通学制限の緩和(3件)、通学路の整備・道路拡張や歩道の設置(4件)
- ② 快適な施設環境・衛生設備の充実(12件)：エアコン(冷暖房)の設置や熱中症対策(3件)、屋内プールの整備・町内への無料開放(4件)、男子トイレの完全個室化(2件)、更衣室の設置・教室の間仕切り(2件)、建物内装の温かみ(コンクリート白塗りを避ける)(1件)
- ③ 教育カリキュラムの充実・ICTと柔軟な学び(9件)：個性を重視し人間力やコミュニケーション力を育む教育(3件)、英語教育の充実(1件)、部活動の選択肢拡充やグラウンド・ナイター照明等の整備(2件)、タブレットの積極導入・ICT教育(2件)、特色ある教育科(スポーツ・音楽・芸術)の設置(1件)
- ④ 地域交流・多世代連携・校内コミュニケーション(7件)：異学年や多学年、クラス間の交流スペース(2件)、地域住民(高齢者・障害者等)とのふれあい・共同給食(2件)、児童館や生涯学習などの多目的な地域拠点機能(2件)、親子の触れ合い機会の確保(1件)
- ⑤ 子育て支援・放課後の居場所(6件)：学童保育(児童クラブ)の充実や預かり時間の延長(4件)、放課後や休日に子どもたちが遊べる居場所(2件)
- ⑥ 安全・防犯・防災対策の強化(6件)：避難所としての強固な防災機能・備蓄倉庫の設置(2件)、防犯対策・死角のない設計や周辺樹木の整備(2件)、いじめのない安心してのびのび過ごせる環境(2件)
- ⑦ 設計への提案・町づくりへの意見反映(5件)：平屋建てスタイルや太陽光パネル・蓄電池等の環境・先進設計(1件)、学校の移転に伴う町のさびれ防止・現在の校舎の活用検討(1件)、子育て世代や子どもたちの意見の積極的な聞き取り・反映(2件)、図書室のデジタル書籍化(1件)
- ⑧ 学校生活・ルールや持ち物の見直し(3件)：ランドセル登校の見直し(猛暑対策等)(1件)、携帯電話等の自己責任での持ち込み許可(1件)、制服や運動着の現代的・機能的なデザインへの見直し(1件)
- ⑨ 生活環境・飲食サービス(3件)：給食の品数や量の見直し・充実(1件)、ウォーターサーバーの設置(1件)、子ども食堂設置(1件)
- ⑩ 特になし・未記入など(3件)

【保護者の声 総括】未来の学校づくりに求めていること

保護者の期待は「安全・快適性を極めた確かな施設基盤」と「一人一人を大切にする教育環境」の確立に集約されます。猛暑化や防犯上の不安に応える最先端設備の導入と安全確保に配慮した施設を求めています。また、平常時も非常時も地域を支えるコミュニティ・防災拠点としての機能や、リラックスできる環境、学びの成長につながる環境が期待されています。

3 教職員アンケート 分析結果（回答数: 73件）

質問項目	主な数値データ	分析・要約
【問1】 現在の自分たちの姿	のびのび元気に過ごす 86.1% 協力して役割を果たす 77.8% 興味をもって知ろうとする 61.1% 地域や社会との関わり 27.8% 自分で考えて行動する 23.6%	協調性や元気に活動する姿勢が高く評価されている一方、「主体的な自己決定能力」や「地域参画意識」の醸成には課題を感じています。
【問2】 必要な資質・目標	自分で考えて行動する 89.0% 相手の気持ちを考える 83.6% あいさつやマナー 68.5% あきらめないでがんばる 64.4%	社会的自立の基礎となる「自主性・判断力・行動力」を最も重視しています。「あきらめない心」や「自己マネジメント力」の育成が必要です。
【問3】 教育以外の学校施設の役割	防災拠点 兼 コミュニティ 拠点 52.1% コミュニティ 拠点 (単体) 31.5% 防災拠点 (単体) 15.1%	避難所機能と地域住民との多角的な交流・連携機能を併せ持った複合的拠点としての役割が期待されています。
【問4】 充実したい場所	個別最適な学び 49.3% ICT活用・校務支援 46.6% 防犯・防災設備 42.5% リフレッシュスペース 37.0%	個に応じた学びの推進と、ICT・防犯防災の高度化による安全かつ効率的な校内環境の両立を望んでいます。

【問5】保護者の声：自由記述

- ① 教職員の配置拡充・働き方改革(6件)：教職員・支援員(町雇用の会計年度任用職員等)の十分な人員確保や予算化(2件)、開校1年目は学校の流れを軌道にのせることを第一とし、無理のない教育課程や研修の設定(1件)、地域行事へすべての教職員が関わることの難しさへの配慮・見直し(1件)、専門スタッフ(ICT操作などの専門員)の常駐による指導専念環境(1件)、「棚倉で働きたい」と思えるウェルビーイングに配慮した職場環境づくり(1件)
- ② 快適な施設環境・衛生設備・メンテナンス性の向上(6件)：体育館の空調(冷暖房)整備(1件)、メンテナンスしやすいクーラー(下降するタイプ)の導入(1件)、お掃除しやすく、汚れが落としやすい「床」(衛生上、絨毯を避ける)(1件)、お掃除や整理がしやすい軽くて大きめの児童机・椅子の導入(1件)、児童用更衣室、職員用更衣室(換気しやすく湿気がたまらない構造)(2件)
- ③ 不登校対応・特別支援・心の居場所(SSR等)の設置(5件)：サポートルーム体制の維持、不登校・不登校傾向の児童の居場所スペースと教員・スタッフの人員確保(2件)、SSR(スペシャルサポートルーム)の設置、専科の先生の配置(1件)、敷地内へのフリースクールやサポート教室の設置による送迎問題の解決(1件)、カウンセリングルーム(相談室)への直通の入り口(プライバシー確保)(1件)
- ④ 安全対策・防犯・死角のない施設設計(5件)：いじめや問題行動を防ぐための「教師からの死角がない」校舎構造・デザイン(1件)、防犯カメラモニター(職員室・事務室・校長室)や来客玄関へのモニター設置(2件)、スクールバスの安全な乗降場の整備(1件)、動線や移動しやすさに配慮した特別室の配置(1件)
- ⑤ 主体性を育む学習環境・多様な学習スペース(5件)：協働学習(話し合い)と個別学習(1人で深める)を柔軟に行える教育課程と環境(1件)、学年全員が入れるような机・椅子を備えた広い学習スペース(1件)、自分のペースで落ち着いて過ごせるスペース、保健室、図書室(機能含む)の充実(2件)、体験学習ができる場(1件)
- ⑥ 地域連携・多世代交流・コミュニティ拠点機能(4件)：地域住民が自由に活用し、子どもたちと交流できる部屋・スペースの確保(2件)、地域の方も利用でき、文化活動や部活動地域移行にも対応したホール(ミニコンサート等)(1件)、安心安全な学校生活や棚倉町の良さを実感できる学校づくり(1件)
- ⑦ ICT環境の充実・校務支援システムの推進(4件)：各教室へのタッチ操作TVや電子教科書の配置(1件)、電子出欠連絡システム(保護者連絡を各クラスで確認できる機能)の導入(1件)、手書き作業を廃止した校務支援システムによる健診票作成等の効率化(1件)、放送部による動画編集やHP管理などの環境整備と情報教育(1件)
- ⑧ 教職員のウェルビーイング・職場環境の充実(3件)：職員間のコミュニケーションを豊かにするオープンな職員室、会議室、リラックスルーム(1件)、換気しやすく湿気がたまらない職員用更衣室(1件)、規格ファイル(5年分)の保管場所や機能情報用金庫の確保(1件)
- ⑨ 運動環境・施設整備の要望(2件)：雨風があっても屋外と同様に活動できる「広い体育館」や「屋根付きプール」(1件)、部活動を地域移行した際のアクティビティ活動場所の確保(1件)
- ⑩ 特になし・未記入など(2件)

【教職員の声 総括】 未来の学校づくりに求めていること

「子どもの安心と主体性を最大化する環境」と「教職員の働きやすさ・ウェルビーイング」の両立を求めています。多様な学習ニーズや不登校支援体制に応える人員・施設配置とともに、死角のない安全設計とICT校務支援システムを推進し、教員が子どもと向き合う「時間と心のゆとり」を生み出すことが期待されています。

